

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

令和5年12月1日

所在地 山梨県甲州市塩山藤木 1937
企業名 駒園ヴィンヤード株式会社
代表者 升本 正

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

ぶどう栽培・ワイン醸造を通じて地域との連携による自然環境の保全と後継者の育成を行い次世代へ継承する。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況	
			登録年月日：令和4年12月1日	
✓環境 □社会 □経済	減農薬有機栽培への転換による自然環境の改善、維持、循環と食の安全性を高める。環境保護のため剪定枝の有効活用を行う。	自社畑を全て減農薬有機栽培へ変更し契約農家へのデータ提供とバイオ炭化器の購入計画を現在の達成率 80%から 100%にする。	全ての自社畑を減農薬有機栽培に変更した。バイオ炭化器をリースし燃焼試験を実施。	(進捗率) 90%
□環境 ✓社会 ✓経済	地元契約農家との安定的な取引と情報共有による技術と品質の向上により所得向上と持続的な農業を推進する。	契約農家のグループ化。品質向上に必要な情報共有。安定供給体制の構築。販路拡大計画を現在の達成率 65%から 100%にする。	契約農家の組織化を実施。商品リニューアルによる価格改正と利益向上を実施。	(進捗率) 75%
□環境 ✓社会 □経済	後継者育成のため学習の場、技術、資格取得機会の提供を行い人材育成と地域活性を支援する。	後継者への専門知識と実技指導。講習会等への参加を進め継承達成率を現在の 65%から 100%にする。	県工業技術センター及び県ワイン酒造組合講習会に参加。	(進捗率) 75%

2030 年の目指す姿

自然環境改善と保全を行い健全で安全な農地を次世代に継承する。
安定的かつ持続的な原料ブドウ買入による農業経営の健全化と所得向上により後継者不足の解消を行う。
若者にブドウ栽培・ワイン醸造の知識と経験を高いレベルで習得させ技術者として育成する。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。